

STOP! 精神医療センター富谷移転、
2・23 みやぎユーザーズアクション

“声なき声と共に”

Action News

アクションニュース

vol.015

2023.6.30

【毎週金曜日発行】

stop.iten223@gmail.com

私たちの声を
届けてください



県議会会派「みやぎ県民の声」と懇談の様子

「みやぎ県民の声」と懇談しました...P2

- 村井知事定例記者会見で四病院再編問題に言及

Nothing about us without us!

私たち抜きに私たちのことを決めるな!



facebook



「みやぎ県民の声」と懇談しました

6月27日(火) 県議会会派「みやぎ県民の声」と懇談しました。

小泉先生からは令和3年度の県立精神医療センターのデイケア・ショートケア件数が3210件(前年2524)、訪問看護ステーション訪問件数4773件(1日平均19.5件)と増えている新たな報告も加えた話も出されました。

議員からも現地視察に行った感想や県がコンサルに依頼した調査「外来30人」の内容を見て、「行き当たりばったりではないのか」という感想もありました。

今後も反対の立場でタックを組んでいきたいと思いますとの呼びかけもあり懇談を終えました。

村井知事定例記者会見で四病院再編問題に言及

県内4病院の再編について

Q: 議会の議論を見ていると、新病院の診療科とか県南の精神科患者さんの行き場とか、そういう具体的なところが見えないという指摘に対して、県側は、基本合意に向けて検討しているというようなQとAの関係だったと思うが、基本合意ができてこないと具体的な説明ができないし、具体的な説明がな

いからよく分からなくて心配とか不安とか懸念があるというような状況だと思う。基本合意は年度内の早い時期にという説明をされているので、この状況が例えば9月議会のときも同じような話が繰り返されるのではないかと懸念があるのだが、この状況で、6月議会はまだ途中だが、議会に入ってしまうのか、次の議会までには何らかの説明する内容が追加されるのか、そこら辺についていかがか。

村井知事: まだ分からないんです、これは。今の段階では何とも申し上げられないんですが、できるだけ早くと言っている以上、間に合えば9月議会、間に合わなければ11月議会に、なるべく早くしたいとは思っています。話は少しずつは進んではいるんですけども、当然お互い主張すべきこともたくさんございますので、もう少しお時間をいただきたいと思っております。

Q: 一方で、議会側ないし当事者の方とかが心配されているのは、基本合意というふうに固まってしまうと、そこから調整は一切利かないのではないかという懸念もある。民間とこれで話がまとまっているので、説明するけれども、ここから懸念点とか修正は利かないよというふうになってしまうのではないかと懸念もあるが、そこについてはいかがか。

村井知事: 1年半前の知事選挙で、私はこれを公約に掲げて、富谷と名取にということまで話を進めてい

ましたので、それを受けて、相手の候補も、対抗馬の方も、絶対反対だというふうに主張されたわけですから、当選した以上、これを県民に向けて選挙のときに約束したことを実現するために全力を尽くす、これは当然のことだと私は思います。

これは公約ですので。実現するために行く、実現するために最大限努力するというのは当然の姿だと思いますので、今おっしゃったように、話をゼロベースで進めるといことは私は基本的にはできないだろうと考えております。

Q: 私が今伺ったのは、ゼロベースに戻すとかということではなくて、基本合意で決まったことでも、いろいろな外部の方から見ると、ここはどうなんだとか、こうしたほうがもっと、再編移転するにしてもこうしたほうがいいんじゃないものという懸念みたいなものが、例えば9月議会とかでもやり取りがあるだろうし、基本合意を発表した後に、いろいろな関係団体から、いや、こういうふうに基本合意したかもしれないが、ここはこうしたほうがモアベターだよというような意見が出ると思う。そこで、民間とこれで合意しちゃったのだからそこは変わらないよというふうになってしまうと、そこで議論はストップしてしまうと思うが、そこについての余地はないのかあるのかということなのだが。

村井知事: 今までいただいた意見をベースに、それを基本合意にできるだけ反映できるようにという

村井知事定例記者会見で 四病院再編問題に言及

ことで今調整をしておりますが、いただいているご懸念がある程度解消されるような形で基本合意に持っていきたいと思っております。従って、基本合意が出たら、だいたい皆さんがある程度分かっていただけのようなものにしたかなと思っております。そこからまた微修正ということは十分あり得ると思っておりますが、大きく変えることは基本的にないだろうと考えているということです。ですから、ちょっと慎重に丁寧にやっていると。

Q: 4病院の関係で、間に合えば9月議会までに基本合意をするという方針で、間に合わなかったとしても11月議会までには基本合意を結びたい、そういう趣旨の発言と理解していいか。

村井知事: そうではなく、できるだけ早くと言ったので、できれば9月、間に合わなければ11月、それでも間に合わなければ2月議会ということなんですが、年度内の早い段階でと言いましたので、できるだけ前倒しでやりたいと思っております。労災病院さんと日赤さんのご意向を聞きながらですので、私どもだけで意思決定できないということをご理解いただきたいと思うんですけれども。

Q: 話し合いは少しずつ進んでいて、もう少し時間が欲しいという話だと思うが、なかなか公にはできないと思うが、県民の方にとって、どこがネックになっているのかを知りたいという要望もあると思う。

協議がなかなか進まないというかまとまらない最大のネックはどこにあるのか。

村井知事: これはなかなか一概には言えないんですけれども、人の問題もあれば、経営の問題もあれば、病院内での意思決定の時間も必要だというようなこともあれば、当然そこで働いている方がおられますので、働いている方のご理解をいただきながら、診療科をどうすればいいのか、病床数をどうすればいいのか、それによって経営がどういう状況になるのか、これを当然いろいろ細かい議論を病院の中でもされているということだと思います。

Q: 現状では何合目か。

村井知事: そうですね、7合目のちょっと手前ぐらいまで来たかなという感じです。

Q: 五、六合目だったので、ちょっとは進んでいるのか。

村井知事: 進んでいます。

【告知】7月1日(土) 緊急討論が行われます！

7月1日(土)14:30~16:30より
宮城野区文化センター、パトナシアターホールにて

(仙石線 陸前原ノ町駅)

4病院再編・統合について緊急討論が行われます。

私たちのことは、私たち抜きに決めないで！

村井知事が主導する仙台圏4病院

の統合・再編構想は県民の間に大きな波紋をよんでいます。

何より、病院利用者や地域からの切実な声は知事の耳に届いているのでしょうか。

現在まで明らかになっている問題や課題を掘り下げ、地域医療のあり方と県が担うべき役割を明らかにしたいと思います。

皆様どうぞご参加ください。

◆ 問題提起① 岩舘敏晴氏(宮城県精神科病院協会会長)

「精神医療センターの富谷市移転～日本経営による報告書の検討～」

◆ 問題提起② 原 敬造氏(宮城県精神神経科診療所協会顧問)

「宮城県精神保健審議議会の議論状況、精神医療センター富谷市移転の問題点」

◆ 発言: ユーザーズアクション(宮城県精神医療センター)、労災病院・日赤病院当事者から、県会議員の皆さん、会場からの発言も募ります。

呼びかけ人

小泉 潤(元県立精神医療センター副院長・名取東口クリニック顧問)

島田福男(宮城県自治会連合会会長・川平学区連合町内会長)

新里宏二(弁護士・ともに市政をつくる仙台市民の会会長)

連絡先

新里・鈴木法律事務所

022-263-3191